



## 姉妹都市・石川県能登町との交流を深める 市内中学生らが能登町を訪問

8月17日から19日にかけて、市内の中学生など約20人が、姉妹都市の石川県能登町を訪問しました。この交流は、両市町の生徒が互いに訪問し、同年代との交流を通して、ふるさとの魅力を再発見することを目的に毎年行われているもの。生徒たちは、同町の生徒たちと一緒に、海でのカヌーや輪島塗の箸作りなどを体験。同町の豊かな自然や伝統文化に触れながら、交流を深めていました。参加した立元智恵さん（三松中1年）は「初めての経験でしたが、能登町の生徒とたくさん交流することができ楽しかったです」と話しました。



## 須木中学校の生徒会が花火大会で募金活動 令和8年熊本地震の被災地を支援

8月26日、須木中学校の生徒会が令和8年熊本地震災害義援金を日本赤十字社小林地区長の市長に贈呈しました。この義援金は、同校の生徒会が自ら立案・企画し、8月9日に開催された須木納涼花火大会で募金活動を行い、集めたもの。当日は、市内外から訪れた多くの来場者から、75,658円の善意が寄せられました。同校の生徒会長の綿引凱也さん（3年）は「たくさんの方々にご協力いただき、想定よりも多くの義援金を集めることができた。熊本の皆さんにみんなの気持ちが届くといい」と活動への思いを話しました。

## 若者の夢を地域で具現化する新事業 西小林中学生徒が小林市ガチャを製作

若者のアイデアを市内事業者の技術と経験で具現化する共創事業「ハッシンコバヤシ!!ミライ・キャンパス」が始動しました。資金調達にはふるさと納税型クラウドファンディングを活用。第1弾は、西小林中学校と小林まちづくり株式会社が連携した「街ガチャin小林市」です。同中学校の3年生が、地域の魅力的なスポットや特産品を詰め込んだご当地カプセルトイをプロデュース。

現在、アンケートをもとに10種類のモチーフを選定し、12月の販売を目指して準備中です。中学生の挑戦に、ぜひ温かい応援をお願いします。

